

大項目	書くこと
小項目	漢字の書き
タイトル (教材名)	漢字を入れよう。～漢字の書き、文章の読み～
目的 身につけてほしい力	<p>①文を読み、文脈から漢字を推測して書く。</p> <p>②一つの音にはいろいろな漢字があることを理解する。</p>
教材の概要  材料 作り方 工夫点など  画像	<div data-bbox="341 624 850 1357" style="display: inline-block; vertical-align: top;"> <p><b>①</b></p> </div> <div data-bbox="874 645 1412 831" style="display: inline-block; vertical-align: top; margin-left: 20px;"> <p>○その学年の漢字ドリルから文章を抽出して、指導者が作成する。</p> <p>○前の学年の漢字も入れながら作成する。</p> </div> <div data-bbox="874 1081 1461 1507" style="display: inline-block; vertical-align: top; margin-top: 20px;"> <p><b>②</b></p> </div>
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ □に入る漢字をヒントとして出しておく。</li> <li>・ 児童生徒は、違いに注意しながら正しい字を書く。</li> <li>・ できるようになってくれば、ヒントの部分を隠し、児童生徒はいくつ書けるかチャレンジする。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字が苦手な背景には、文字のパーツの位置関係や大きさの認識、パーツから構成する文字の形がわかりにくいといったことが要因の一つとして考えられる。その部分は常に補いながら指導していくが、文章の中でどの漢字が入るかを考えることで、さらに漢字への負担が減っていくのではないかと考えている。</li> </ul>